

## トア・ロード



三宮神社の西側を南北に走る線を「トア・ロード (Tor Road)」と呼んでいる。この道は、神戸開港以来、多くの外国人の仕事場である居留地と、住居エリアである北野を結んだ生活道路であり、洋服仕立て屋、洋菓子店、レストランなど外国人の生活の需要を満たす店舗で賑わい、洗練された通りとして現在に至っている。

「トア・ロード」という名前については、1907 (明治 40) 年、北野町 4 丁目にドイツ人ホルスタインによって建てられた「トア・ホテル (Tor Hotel)」へ突き当たる道なので、この名がいつしか付けられた。なお、この「トア・ホテル」は、日本風の庭園に古典的なイギリス風の建物というスタイルで、89 室ある客室は、当時としては珍しい全室トイレ・バス付きであった。またこれらの客室は室内の色彩がすべて異なるという特徴を持っていた。第二次世界大戦後は、進駐軍に接収されたが 1950 (昭和 25) 年に失火で焼失してしまった。その後、跡地には神戸外国人倶楽部が建ち、現在に至っている。

「トア・ロード」は戦時中は「東亜道路」とも言われた。トア (Tor) の意味については、英語の「丘」、あるいはドイツ語の「門」からとったとか、「鳥居 (Torii)」の下を略したのだという説があるがはっきりしない。